

学校経営推進費 評価報告書（最終）

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立八尾支援学校
取り組む課題	生徒の自立支援
評価指標	1 学校教育自己診断アンケートの満足度の向上 2 学校生活における、児童・生徒・保護者の満足度の向上 3 体カテストによる体力の向上と肥満度検査による肥満度の減少
計画名	八尾アスレチックフィールド ～みんなで一緒に楽しみ、自分から身体を動かしたくなる環境づくり～

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	2 キャリア教育・進路指導及び魅力ある取組みの充実による自立や社会参加の実現 ＜特色ある教育＞ 八尾アスレチックフィールドを活用した授業の推進し、計画的・継続的に健康でたくましいこころとからだを育成する。また、高等部の維持管理作業と連携して将来につながるキャリア教育の取組みを推進する。
事業目標	① 知的障がい者の体力レベルは健常者と比べ 40～60%レベルとされている。日常的な健康に対する意識と習慣が影響していると考えられるため、本計画を通じ運動をする楽しさを感じると共に、運動する習慣を身に付け、体力レベルの向上をめざす。 ② 体を使いこなす経験と運動する習慣を身につけるだけでなく、友だちや教員と一緒に取り組むことでコミュニケーション能力の向上を図る。 ③ 体力向上を実感し運動に対し自信を持つことで自己肯定感を高められるように計画を進める。
整備した 設備・物品	・ ボルダリングウォール（難燃性 FRP 製）W6000×H2500 ・ ボルダリングで使用するヘルメット（27 個） ・ ヘルメットの収納ベンチ（2 台） ・ 築山を芝生化させるための芝生の種（コウライ芝、整地込み） ・ 芝生を養生するための散水器・散水タイマー・ホース ・ ウッドチップ敷き均し
取組みの 主担・実施者	主担者：首席・校内選考会での提案者（教員 2 名） 実施者：全教員
本年度の 取組内容	《児童生徒の使用》 ・ 特別活動や自立活動を中心に活用した。 ・ 各学部の体育の授業で、八尾アスレチックフィールドと既存の遊具を合わせたサーキットトレーニングを実施した。 《清掃、整備活動》 ・ 自立活動の一環として、月に 1 回程度、高等部の授業でボルダリングの清掃や築山の雑草抜きを行った。 《アンケートの実施》 ・ 学校教育自己診断アンケートにおいて、今年度も評価指標として昨年度新設した満足度や活用度をはかる設問を使用した。

成果の検証方法 と評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ① 生徒（中学部抽出）の1年間の肥満度上昇値 +2%以下（R2年度+2.1%） ② 学校教育自己診断アンケートによる肯定的意見 70%以上 ③ 八尾アスレチックフィールドの整備メンテナンス 月1回以上実施 ④ 地域との交流などで、八尾アスレチックフィールドを活用 1回
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ① 生徒（中学部抽出）の1年間の肥満度上昇値 +2%以下 ⇒ R3年度 1学期 10.4%→3学期 10.9%（+0.5%）……………（◎） ② 学校教育自己診断アンケートによる肯定的意見 70%以上 【高等部生徒向け設問】：「八尾アスレチックフィールドのボルダリングや芝生は楽しいですか。」⇒ R3年度 58%……………（△） ※ 評価指標には届かなかったが、対昨年度比11%数値が上昇した。 【保護者向け設問】： 「楽しく運動するための環境が整備されている。」 ⇒ R3年度 87%……………（◎） 【教職員向け設問】： 「授業や特別活動等で八尾アスレチックフィールド（ボルダリング・築山・ウッドチップ）を活用している。」 ⇒ R3年度 42%……………（△） ※ 築山の芝生やウッドチップの維持メンテナンスが難しく、活用に課題があった。 ③ 高等部の生徒が授業の中で、清掃、整備活動を月1回実施した。……………（○） ④ 地域の学校園との交流で、八尾アスレチックフィールドの活用を検討していたが、今年度も新型コロナウイルスの影響でオンライン形式の交流となった。……………（△）
事業のまとめ	<p>予定していた取組みがコロナ禍で実施できなかった部分もあったが、八尾アスレチックフィールドを設置したことで児童生徒の運動や活動の幅が広がり、3年間継続して体を動かす機会を設けることができた。</p> <p>築山の芝生やウッドチップの維持メンテナンスは難しく、課題もあるが、高等部の生徒が清掃活動をする様子を小学部・中学部の児童生徒が見ることにより感謝の気持ちが生まれ、3学部を通じたキャリア教育に繋がった。</p> <p>地域や学校園との交流で活用することはできなかったが、次年度以降、交流活動の企画・推進をして開かれた学校づくりを行っていく。</p> <p>本事業のビジョンであった「生きる力をしっかり伸ばす」ために、今後も継続して活用していく。</p>